

# 議会だより

令和7年度12月会議

12月会議提出議案	2
議案審議	3~5
一般質問	6~11
「5人の議員が町政への質問」	
議会topics	12~15
議会だよりギャラリー	16

目次

# 下郷

SHIMOGO

下郷町

2026年2月



第114号

地域の冬を支える「高齢者等除雪支援事業」

平成27年度から継続し、高齢者世帯を対象に除雪作業を行っています。(令和7年度事業費5,003千円)

# 12月

## 会議提出議案

12月会議は12月15日から19日までの5日間の会期で開催されました。今会議では、条例の一部改正、令和7年度補正予算など町提出議案13件が審議され、全議案が可決されました。

### 条例改正

- 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の設定について
- 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の設定について
- 議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の設定について
- 町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の設定について

### 補正予算

- 令和7年度下郷町一般会計補正予算（第3号）  
857万5,000円増額
- 令和7年度下郷町介護保険特別会計補正予算（第3号）  
961万6,000円増額
- 令和7年度下郷町農業集落排水事業会計補正予算（第1号）  
406万1,000円増額
- 令和7年度下郷町一般会計補正予算（第4号）
- 令和7年度下郷町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）  
75万円増額
- 令和7年度下郷町介護保険特別会計補正予算（第4号）  
91万7,000円増額
- 令和7年度下郷町簡易水道事業会計補正予算（第1号）  
43万5,000円増額
- 令和7年度下郷町農業集落排水事業会計補正予算（第2号）  
21万9,000円増額



### 人事案件

- 教育委員会委員の任命について



氏名：高橋 弘之 氏（中妻）

任期は令和8年1月1日から  
令和12年12月31日まで

# 1月

## 第1回会議

1月会議は1月26日の1日間開催されました。

### 令和7年度下郷町一般会計補正予算（第6号） 補正額123,512千円

〈主な事業〉

- がんばろー下郷町ファイト商品券事業（令和8年度実施予定）  
全町民へ一律2万円の商品券を交付
- 物価高騰対応重点支援プレミアム商品券事業（令和8年度実施予定）
- 物価高騰対応子育て応援手当〈令和7年度3月支給予定〉  
こども一人あたり2万円

# 議 案 審 議

## Q & A

### 教育委員会委員の 任命について

**Q** 高橋氏の任命には反対しないが、教育委員会は学校教育だけでなく、生涯学習、社会教育、芸術文化、文化財、スポーツなど幅広い分野を管轄する。現在の教育委員4名の構成はどうなっているのか。新たに選任される高橋氏が元教員であり、既存委員にも元教員がいることから、学校教職員OBの比率が高くなりすぎないか懸念している。

**A** 教育委員…4名で構成され、学識経験者と保護者代表から選出している。

町長…地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基

づき、人格が高潔で、教育・学術・文化に関して職権を有する者の中から、議会の同意を得て任命している。学校長出身や一般企業出身といった職歴ではなく、法律に従った基準で人格と職権を重視して選任している。

### 〔意見〕

人格が素晴らしく、児童生徒のためになる運営をされるのであれば納得する。この方については特に異論はないが、教育長とともに児童生徒のことを考え、よりよい教育体制となる教育委員会を望む。

### 職員の勤務時間・ 休暇等に関する条 例の一部改正につ いて



**Q** ①この条例の対象職員に会計年度任用職員も含まれるのか。②意向確認のための面談は誰が行うのか。③研修は全職員が対象か。④相談体制の整備とはどのような体制か。⑤勤務環境の整備とは具体的にどのような内容か。

**A** ①会計年度任用職員も含まれる。②人事管理を担当する総務課総務係が体制を整えて行う。③該当者のみが対象である。④育児と介護で分けており、育児については妊娠した方に声掛けを行い、介護については40歳を迎えた時

期に制度周知を行う。それ以外は対象者から希望があった場合に必要な時期に説明する。⑤超過勤務の対応が主なもので、今回の制度では育児を行う子どもの年齢が3歳から就学前まで引き上げられ、該当者には超過勤務の免除や時間制限の配慮を行う。

**Q** 育児対象が小学校就学前となっているが、別の条文では3歳に満たない子とある。内容が重複しているのか。

**A** 超過勤務に関しては3歳から就学前まで変更となった。3歳が出てくるのは超過勤務ではなく育児休業の取得に関するもので、妊婦や小さい子どもがいる方には超過勤務以外にも様々な配慮項目があり、育児休業を取りやすい環境整備の意味で明記している。



令和7年度一般会計  
補正予算(第3号)に  
ついて

▼バス運行委託料について

**Q** 会津バス委託料について、過去3年間を調べると毎年前年度決算額で予算を組んでいる。令和7年度は当初予算3903万6千円が補正後4116万7千円となる。客数で変わるの理解するが、情勢や乗降人数を考慮して予算を組むべきではないか。会津バスに丸投げで年々金額が上がっている。

**A** 前年度補正後の決算額を次年度予算として計上している。社会情勢等を見極めながら積算する方法に改める。

▼ふれあいセンター空調設備について

**Q** 毎年空調設備点検料108万9千円を計上しているが、点検で故障を防ぐことはできないのか。公共施設等管理計画で日常点検を実施し予防保全に努めるとなっているが、日常点検をどのように行っていたのか。

**A** ふれあいセンター1階の事務室、ホールロビー、調理室の3ヶ所が同時に壊れた。事務室は事務を取っているため早急に修繕が必要で今回346万5千円を計上した。空調と室外機を別にすることで今後の管理がしやすいように修繕する。

委託業者が毎月点検し、修繕が必要かチェックしているが、修繕する場合は空調設備のように金額がかさむため、今回は突発的な故障となった。

【意見】

ふれあいセンターは町内外から利用され、避難所としても指定されている重要な施設である。使おうとしたら壊れていたでは困る。予算化から業者発注まで何ヶ月もかかるため、壊れる前にPDCAサイクルできちんと調べて対応していく必要がある。



▼農林課の超過勤務手当について

**Q** 農林課だけが超過勤務手当を補正増額しているが、農業分野、林業分野に特化して当初予算を上回る何かがあったのか。

**A** 年度当初の会計実地検査にかかった金額が予想を上回ったことが

▼大沢川河川工事の変更について

大きな理由である。今後の傾向を見ると不足すると判断し計上した。また、林業振興費は県の森林環境交付金事業と森林環境譲与税金事業と必要以上の金額がかかり、治山林道費は林道改良事業と県営林道専用道路整備事業の事務に時間を要した。



▼大沢川河川工事の変更について

**Q** 大沢川の河川工事における変更とは何か。最初の契約金額と法面が崩れたための補正金額を教えてください。

**A** 大沢川河川カルバート補修工事は7年、8年、9年の3ヶ年事業

▼大川ふるさと公園の違約金について

で、当初予算は2000万円、当初契約額は1760万円である。施工にあたり、切土部分の土質が非常に悪く雨が降るたびに法面の土砂が崩壊し、道路部も地盤耐久性が著しく弱く工事車両の安全性に問題があった。そのため切土勾配を緩やかにし、セメント量を増やして作業の安全性と地盤の耐久性を確保するため、350万円を増額する変更契約を行う。

▼大川ふるさと公園の違約金について

**Q** 大川ふるさと公園の工事請負の違約金について内容を教えてください。

**A** 対象業者は発注した5件のうち、2件が竣工完了、3件が契約解除となり、そのうち2件で違約金が発生した。大川ふるさと公園給水管更新第2期工事の違約金は235万

700円と利息返還4万7300円、物産館女子トイレ洋式化工事の違約金は6万4350円と遅延利息300円である。大川ふるさと公園工事は契約時に業者が東日本保証の保証会社に入っており、保証会社からの補償金で違約金等の支払いがされた。

#### ▼債務負担行為（除雪機械整備事業）について

**Q** 雪寒機械整備事業の内容と、当初予算ではなく債務負担行為とする理由は何か。

**A** 令和8年度に14t級の除雪ドーザの購入を計画しており、金額は3984万2千円である。除雪車両製造に関わるエンジン部品、特に半導体不足により納期遅延が発生しており、年度内購入が難しく、12ヶ月以上の納期が必

要なため、7年度内に発注し8年度納期として債務負担行為を設定する。

#### ※債務負担行為

地方公共団体が将来にわたって経費の支出を約束する契約を締結する権限を、議会の議決を経てあらかじめ設定する制度です。この制度は、単年度予算の制約を超えて、複数年度にわたる大規模な事業を計画的かつ安定的に実施するために必要です。

#### ▼基金の利息と資産運用について

**Q** ふるさと応援基金利率と公共施設等整備基金利率について、どこの金融機関に預けており、預金種類と利率は何か。また、他の自治体では株や投資信託で資産運用をしているのではないか。

**A** ふるさと応援基金は東邦銀行会津下郷支店に普通預金で積み立てている。公共施設等整備基金は東邦銀行会津下郷支店、JA会津よつば下郷支店、東北労働金庫若松支店、大東銀行田島支店、会津信用金庫田島支店の5つの金融機関に定期預金として積み立てており、利率は概ね0・125%である。増額理由は当初予算編成時点と現在で基金残高が変わり、積立額が増えている分である。各金融機関や証券会社等から商品紹介の話をいただく機会があり、他の自治体でもそういった運用の取り組みを始めているという話は伺っている。

#### ▼旭田小学校体育館照明工事について

**Q** 旭田小学校体育館照明工事の減額理由を教えてください。また、落札率59%は業者にとって採算が取れるのか。

**A** LED工事で予定価格があったが、落札価格が231万円で落札率が59・08%だった。町内業者の努力により161万7千円の減額となった。当初の見積もりは正規の見積もりをいただいており確認しているが、入札金額が低く抑えられたのは企業努力と捉えている。

制限があり毎年少しずつしか購入できないと聞いているが、今回は一般財源で支出している。来年度予算では一般財源で地区住民の要望に応えられるように予算計上してはどうか。

**A** ワイヤーマッシュ購入費である。現在柵を回しているが高さが低い。そのため、電気柵と複合させる形で上段にワイヤーマッシュを添架する。今回は購入だけを急ぎ、新年度に入ってから利用者とともに設置し、夏野菜の被害が及ばないようにする。クラインガルテンは周遊的な部分で計上しているため、他の行政区より金額が上がる。来年度以降の予算増については財源的な部分がかなり出てくるため、検討させていた

#### ▼市民農園のワイヤーマッシュについて

**Q** 市民農園費の備品購入費185万3千円について、今回購入して次年度に設置するのか。また、各地区の区長から予算

# 一般質問



12月会議では、5人の議員が7件の一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

7ページより、質問した順に代表する質問の一般質問を要約してお知らせします。

## 星 邦一

- 町長4期目公約について
- クマ対策について

P7

## 星 昌彦

- 地域公共交通について

P8

## 渡部 哲

- 少子高齢化対策としての雇用創出

P9

## 山名田 久美子

- 公民館の管理と運営について
- 公共施設等総合管理計画について

P10

## 星 和志

- DX・農業・観光について

P11



“一般質問”は、議員が町の行政全般について、事務の執行状況や将来の方針等を聞き、町長などに所信や疑問をたずねることで、報告や説明を求めることです。



スマートフォンで右のQRコードを読み込むと今までの会議録を読む事ができます





星 邦一 議員  
kuniichi hoshi

## 質問 町長4期目公約について

### 答弁 4期目にあたって掲げた私の公約を確実に実行していく

**問** 広報下郷による所信表明で町長は、人口減少と少子高齢化という課題を中心に真正面から取り組んでいくと述べられている。若者が帰ってきたくなくなる町、これを目指すことは人口減少対策、そして少子高齢化対策にも繋がりが、下郷町が元気になるためには非常に重要であるが、町長は4期目スタートにあたり、この4年間で若者が帰ってきたくなくなる町として、どのような施策構想を考えているのか伺う。

**答** 第7次総合計画に掲げる五つの基本目標に沿った各種施策の普実な実行、4期目にあたって掲げた私の公約を確実に実行し、積み重ねていくことで、町が目指す将来像「魅力あふれる未来へ繋ぐまち下郷」に実現へ近づき、今を生きる人たちが下郷町に生まれてよかった、住んでよかったと思ひ、幸せを実感できる魅力ある豊かな暮らしを実現させ、次世代を担う子供たちにとって、ふるさと下郷が夢や希望に満ち溢れた未来を描ける場所となれば、おのずと若者が帰ってきたくなくなる町へ繋がっていくものと考えている。

**問** 本気で若者を呼び戻そうとするならば、やはりホームページそしてSNSなどの充実を図っていく。これは必然的に当然の行為であり町長も承知されていると思うが、町のホームページを見ると町長の挨拶は2024年4月3日から更新されていないし、他も更新されていない。全身全霊で取り組むという町政運営が、これでいいのか。

**答** ホームページを更新していない、まだ変わっていないことは大変遺憾に思うが、若者を呼び戻す方法としては特別班を作り、議論を重ねながら職員と一緒に進めていくことを約束する。

**問** 職員の不祥事が後を絶たない、ホームページの基本的な情報の更新もされていない、これは危機的状況と思われる。全身全霊で町政運営に取り組むのであれば、まずは職員の意識改革、役場内の立て直しを進めた方がいいのではないのか。

**答** おっしゃる通りだが、職員を信頼していないということではない。職員は

更なる意識改革を周知徹底していきたい。

**質問** クマ対策について

**答弁** 専門家指導のもと、安全確保する

**問** 今年におけるクマ出没の異常増加にあたり、町はどのような対策対応および対策を行ったのか伺う。

**答** 本町では鳥獣被害対策の3つの柱である「個体群管理」「侵入防止対策」「生息環境管理」を総合的に組み合わせ住民の安全確保を最優先に対応しているところである。また、ツキノワグマ被害防止緊急対策事業を活用し、専門家指導のもと、板萩、小池、倉水地区の放任果樹伐採による生息環境管理を計画し、年度内に10本程度の伐採を行うとしている。

**問** 各小中学校、そして保育園における危機管理対策には、クマ対策に関する事項は入っているのか。

**答** 確認しないと分からないので、後ほど確認させていたきたい。

**問** 早急に調べ、小中学校、保育園に通達すべきである。放任果樹伐採については三地区を選定したのはなぜか。この選定した地区の伐採によって、隣接する地区へクマは移動して考えると考えられる。やるのであれば、町内の全区長に調査を依頼してはどうか。

**答** 専門家指導のもと、捕獲頭数の多いことなどを勘案して選定した。安全管理をしていくには、まずは生息の実態調査を実施しなければならず、来年度、地方交付税か補助金がくることは間違いないのでそれに基づいて樹木の伐採も含めてやっていく。

**問** 巡回を行う猟友会も高齢化してきているため、若い人が入れる体制を作ることで、巡回の際の日常の金額も他市町村の状況も踏まえていたきたい。(答弁不要)





星 昌彦 議員  
masahiko hoshi

**質問** 地域公共交通、デマンド型バス・タクシー等の考えは

**答弁** 費用対効果を考えると、現在の定期路線バス補助で実施できるよう対応していく

**問**

11月11日の福島民報の第一面に会津乗合自動車（会津バス）と福島交通が来々4月1日に、会津乗合自動車吸収合併方式で福島交通に経営を統合する旨の記事が掲載されていきました。人口減少や運転手の不足、利用者の減少が大きい要因となつていきます。先日も町民の方から、田島の病院に行く、午前9時台のバスが無くなり、大変不便になったと話されていきました。町は、会津バスに対して、バス運行維持負担金として、音金線外4路線に対して、昨年度39,035,780円の負担金を出しています。また、高齢者タクシー助成事業では、783人で、5,411,000円を助成、これは、1回のタクシー利用で500円の助成券2枚の利用しか出来ません。1,000円を超える地区は町民の負担が大きくなります。大きく2点について質問したい。

**答**

令和3年3月の定例会の一般質問の中で、下郷観光循環バスのデマンドタクシー等の事業について検討しなければならぬと回答しています。が、担当である総合政策課内で検討されたかどうか、また、検討されなかったとすれば、今後、想定される路線バスの定期便減少や将来の定期路線の廃止など、町民の移動手段の利便性が無くなると思えます。今後の地域交通について、町長はどのように考えているか。

平成26年に「デマンドタクシー等に関する検討」をしたが、詳細な積算までは行っていない。導入市町村は、費用について、大きな費用が負担になっていると聞いている。路線バスと高齢者タクシー助成事業を組み合わせた運行形態が最も良いと考えている。

**問**

下郷町に隣接町村は隣接町村でデマンドタクシーかデマンドバスを運行しています。片道200円から500円まで金額に違いはありますが、町民の利便性を図っています。今後の地域交通として、町内の交通弱者空白地帯をなくし、お年寄りなど交通の移動手段を確保することを目的として、デマンドタクシーかデマンドバス導入について検討されてはどうか町長の考えを問う。

**答**

導入自治体により、その形態は一般向けや児童生徒の登下校に合わせて運行しており、多額の予算を要しています。本町のように広大な面積を有し、枝状に集落が点在しており、導入の際には、財政面を考慮しながら検討していく。



**オンデマンドタクシーとは**

地域の交通需要に応じて、利用者の予約に合わせて運行するタクシー型の公共交通サービスです。決まった時刻表やルートで走るバスとは違い、必要なときに必要な場所へ柔軟に運行できるのが特徴です。



渡部 哲 議員  
tetsu watanabe

## 質問 少子高齢化対策としての雇用創出

答弁 第7次下郷町総合計画に基づき、人口減少対策を最優先課題としてきめ細やかな施策に取り組む。

### 問

町の総人口の長期的な減少と、特に20代から40代の生産年齢人口の流出が深刻な下郷町において、その根本要因である「町内の安定した雇用の場の不足」を解決するため、「雇用の創出」を人口減少対策の最優先課題と位置づけるよう町当局の考えを問うたものです。

- 質問者は、子育て世代の定住を促すため、以下の4点について、町の基本方針と具体的な検討状況を求めました。
- ① 町としての「雇用創出」の基本方針
  - ② 具体的な雇用創出策の検討状況（観光、林業・製材業、小規模企業・起業支援、公共サービス）
  - ③ 民間企業・外部資本との連携による雇用創出
  - ④ 経験豊富な高齢者の利活用

### 答

町長は「人口流出の抑制」を喫緊かつ最重要課題と捉え、「雇用創出」を施策の根幹と位置づける考えを示しました。若者から高齢者まで誰もが地域で働き生活できる環境整備は、持続可能なまちづくりの土台であると認識しています。

#### 具体的施策の検討状況

- 観光産業の通年雇用化：近隣市町村や観光協会と連携し、大内宿や塔のへつりを軸とした通年誘客コンテンツの開発と周遊ルートの確立を検討中。質の高いインバウンド受け入れ体制の構築も検討しています。
- 林業・製材業の再生と六次産業化：下郷町森林組合を中心に「森林経営計画」を策定し、森林環境譲与税を活用した多角的な政策で林業事業体の雇用創出を目指します。間伐材などの森林資源の六次産業化も検討します。
- 小規模企業・起業支援移住者・若者向けの創業支援制度

度について、相談事例に基づき、必要な支援内容を検討し具体化を図ります。テレワークやデジタルスキルを活用した働き方については、業務効率や勤怠管理の課題から実施率が減少しており、状況を注視しながら検討を継続します。

- 公共サービスによる雇用創出：地域に定着する専門職の計画的な確保と雇用創出を図ります。地域交通や公共インフラ維持に関しても、可能な支援策を検討します。

#### 民間企業・外部資本との連携

連携は有効な手段と認識しているものの、現在の経済状況下では厳しい状況にあるとの見解を示しました。

#### 経験豊富な高齢者の利活用

高齢者の知識、技能、人脈を「町の活力維持」に向けた財産と認識し、その活躍を支援することを重要施策と位置づけます。ただし、シルバー人材センターの設立など新たな大規模な仕組みの導入は、

現状では現実的ではないとの認識です。

#### まとめ

人口減少対策を最重要課題とし、第7次下郷町総合計画を基に、きめ細やかな各種施策に取り組むことを表明しました。





山名田 久美子 議員  
kumiko yamanada

**質問** 公民館の管理と運営について

**答弁** その都度旧江川分館に出向いて対応

**問**

町の公民館は、条例上旧江川分館が町の公民館として位置づけられている。しかし公民館職員は全員ふれあいセンターに常駐し、公民館学級活動などはふれあいセンターで行われている。9月会議で示された事務報告書には、公民館の利用は掲載されておらず、利用頻度が低い施設であると認識している。しかしこの公民館は江川地区で不足の災害が生じた場合の避難所になる。町としても重要な役割を担う施設になる。職員全員が別の施設に勤務している状況で、どのような管理方法をとっているのか伺う。

**答**

使用予約などは、ふれあいセンターで公民館職員が対応し、設備点検・維持管理等は都度旧江川分館に出向いて対応している。

**問**

管理責任者は公民館長になると思うが、もし万が一何かがあった場合、館長が会計年度任用職員であっても責任を負うことになるのか。

**答**

教育部門になるので、教育長が責任を問われる。建物は町の財産になるので最終的には町長になる。

**問**

ふれあいセンターは、農林課関係の補助で建設されたと思う。公民館として利用することは、目的外使用になるのではないか。

**答**

農村振興交付金事業で建設されたもので、目的外使用になっている。建物が50年経過しないと公民館として利用できない。現在は、事業の場所を借りて実施していると解釈していただきたい。

**質問**

公共施設等総合管理計画について

**答弁**

計画策定過程での

情報と分析を丁寧に進める

**問**

町が平成29年3月に策定、令和4年3月に改訂した公共施設等総合管理計画が令和8年度までで、残すところあと1年となった。

計画内の推進体制は、PDCAサイクルによりマネジメントに取り組み、Cの検証は供給、品質、財務の観点から検証を実施する。財務の観点では予算編成時に行うと想定する。令和8年度の予算編成に向けて作業中と思うが、供給や品質の検証が進んでいる必要があると考える。計画にある個々の公共施設について、検証は進んでいなければならぬが、これらは済んでいるのか伺う。

この計画は、人口減少財政制約下で施設の老朽化対策と維持管理の適正化を図り、公共施設の総量を統廃合、再編成及び長寿命化等の対応により適正化を図り、将来にわたって持続可能な行政サービスを効率的に提供するための計画である。

検証については、現計画期間の最終年であり、関係課と連携を図り、建物の老朽化対策、利用率を含めた施設の必要性、財政面から見た長寿命化、更進、除却の妥当性などについて検証を行い、計画の見直しを図る予定である。





星 和志 議員  
kazushi hoshi

## 質問 4期目のDX・農業・観光について町長の展望は

### 答弁 財政面での制約や人材確保の困難が課題である

※DXとは、「デジタル技術を使って、生活や仕事をより便利で快適に変えること」

**問**

町長ご自身は、これまで当町のDXが思うように進まなかった要因をどこにあると分析しておられますか。また、この4年間でDXをどのように加速させるお考えか、具体的なロードマップをお示しください。

**答**

令和2年12月に国においてデジタル社会の実現に向けた改革の基本方針が決定され、本町においても取り組みを進めている。令和5年度から納税に関するキャッシュレス納付サービスを開始し、今年11月から国の標準化に基づくシステムを稼働した。後れを取っているとの認識は持つておらず、限られた財源の中で費用対効果を見極めながら引き続きDXに取り組んでいく。

**問**

これまでの対策が必ずしも十分な成果を上げてこなかった現状を踏まえ、この4年間で当町の農業を守りから攻めの農業へと転換するために、どのような全く新

**問**

しい手を打たれるおつもりでしょうか？

**答**

町農業再生協議会が主催となり、多くの補助制度を活用して支援してきた。新規就農の相談が8件あり、1件が認定新規農業者、その他6件が新規就農に向けて支援している。町農業再生協議会頑張り農業支援事業では令和6年度交付実績が1121万9000円、令和7年度12月10日現在で661万8000円の交付実績がある。

**問**

これまでの観光政策の何が課題で、なぜ観光客がお金を落とさしてくれなかったと分析されていますか。

**答**

日帰り客が多く、周遊性の不足による短時間の滞在が観光客一人当たりの消費額増加に繋がってこなかった最大の課題である。宿泊施設の不足や夜間・悪天候時でも楽しめるコンテンツの欠如、体験型サービスの開発の遅れ等が要因として挙げられる。

**問**

現在どのような手続きがオンラインで下郷町では可能になっているのか教えてください。

**答**

国が進めている標準化に基づいて20業務を今後進めていく。住民基本台帳、戸籍、印鑑証明、国民年金、選挙人名簿、固定資産税、個人住民税、法人住民税、軽自動車税、国民健康保険、障害者福祉、高齢者後期高齢者、介護保険、児童保健、児童扶養手当、子ども子育て支援、生活保護、健康管理、就学等のシステムが入ってくる。

**問**

農地の集約や補助について、町単独でやる場合の事業費や補助はあるのか。

**答**

中山間地域は傾斜地が多く、補助整備には金がかかると、町単独でやる事業は非常にリスクが高い。国の補助制度を活用していくことが基本である。農林課長からは、お金に糸目をかけなければいけないが、通常10億円程度の金額が目安で、町単独

**問**

では他の事業が機能しなくなると説明があった。

**答**

点から面に広げる戦略とは具体的にどのような形になるのか。

**答**

野上温泉、湯野上温泉、塔のへつりなどが点だとすれば、それを面として扱う場合は、自転車で回ったり、バスで各地を回ったりするイベントを考える。下郷町のメインとして野上温泉と塔のへつりを結び、駐車場からバスを回すなどして面的な観光を展開していく。

**問**

専門職員を置いた場合の費用と補助はあるのか。

**答**

DX分野については県のICTアドバイザー派遣事業があり、県内のIT系事業所から市町村に派遣を行っている。町の予算は一切支出せず、100%県の予算で取り組んでいる。町での採用となる給与体系が全く違う次元の高さになるため、なかなか難しい。

### 旭田小学校訪問

学校経営・運営ビジョンに基づき学校運営を行っており、児童数減少に伴う弊害等について、意見交換を行う。

**Q** 電子黒板やタブレットを使用して授業を行っているが、授業の内容は先生が独自で考え授業に取り入れているのか。

**A** 基本的に学習指導要領に沿って事業を実施しているが、国・県から提供される教材と先生が独自に作成した教材もある。専門的な知識を持った教職員の配置が望ましいが現状では困難である。

**Q** 学校運営に関して、一番の課題はどういった点か。

**A** 児童が少数だからこそ目が行き届くため、教職員が児童の世話を焼きすぎてしまう。自立を阻害しているのではないかと心配である。



### 旭田小学校体育館証明LED工事

旭田小学校体育館照明16基がLED器具に交換した。

**Q** LEDへの交換の全体的な進捗はどの程度か。

**A** 全体的な進捗状況は把握していないが計画的に更新する予定である。

### 企業支援事業

### 株式会社セコニック南会津工場

株式会社セコニック南会津工場を訪問し、企業の状況や雇用情勢等について意見交換を行った。従業員数68名（うち下郷町27名）

**Q** 人口減少が進行する中で、雇用計画等があれば教えていただきたい。

**A** オリンパスの医療機器については、安定した受注が見込まれていて、喜多方工場は若い従業員を集約し、南会津工場は年齢の高い従業員が多く、来年度の採用について今のところ計画はない。

**Q** 今後の採用計画はあるのか。

**A** 現時点では無いが、65歳で退職する従業員分を新規採用をして若返りを図っていききたい。



### その他の調査箇所

◇会津縦貫南道路

◇学校給食協働調理場エアコン工事

◇湯野上温泉駅前環境工事 ◇登記関連システムデモ

○会津縦貫南道路（国道121号湯野上バイパス本線函渠（仮称工事）中妻入り口付近  
函渠 幅12.3メートル、高さ 5.7m、長さ 52.6m

○学校給食協働調理場（下郷中学校内）天井パッケージエアコン3基、ルームエアコン2基

○湯野上温泉駅前環境整備工事（令和4年度～令和7年度までの3年間継続事業）

令和6年度事業→アスファルト舗装 面積247.7㎡、コンクリート舗装 58.9㎡

○登記関連システムデモ 今まで登記所から紙ベースの移動情報が、電子連携により町民の利便性向上と職員の省力化が図られた。今まで図面はマイラー原図であったものが、公図システム導入に伴い、パソコン上で検索や、必要な部分の印刷も可能となる。

### 農業水利防災(ため池廃止)工事 沼尾地区

緊急自然災害防止対策事業 (農地防災)

工事費：16,977,400円

【内容】老朽化等により漏水が頻発、施設の一部が流出する被害が発生し下流住宅側への被害が懸念されるため、代替え水利を確保したため池を廃止する。



### 町道落合十文字線 ICアクセス道事業

社会資本整備総合交付金・ICアクセス道路事業

【内容】高規格道路スマートIC整備と併せ、地方公共団体におけるICアクセス道路の整備について計画的かつ集中的に支援。

【年次計画】

令和8年度 ……B/Cの算出 (費用対便益)

令和9年度 ……補助事業化

令和10・11年度 ……用地測量

令和12年度 ……設計(福島県協議) 説明会

令和13年度 ……用地契約

令和15・16年度 ……工事、工事完了

### 防災設備整備事業 事業費：7,665,000円

旧ゴミ処理場 倉庫改修工事 (平成25年度において防災施設整備) 塩生地区内

【保管備蓄品】

衛生用品、簡易ベッド、段ボール仕切り、簡易トイレ、毛布、非常用食料等。非常用食料として備蓄品は保存期間が長かつ調理不要の物とし家屋から非常持ち出しができない避難者、旅行者等1日分程度を目安とする。

【備蓄数量目標】

町内3地区の内、1地区が避難しなければならない災害を想定。

人口(5,400人)/地区数(3)=1,800人

職員、観光客等を含め 2,000人分



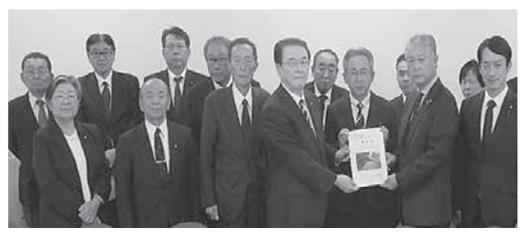
### その他の調査箇所

- ◆林道防災(舗装新設)工事…林道水門上ノ山線120m、幅3.6m (水門地区内)  
工事費：3,355,000円/工期：令和7年8月～令和7年11月6日
- ◆しもごう保育所…平成10年3月開所、児童数52名、職員数21名
- ◆下郷作業所ホイップ 社会福祉法人 南陽会…定員 26名、就労継続支援B型、就労移行支援  
パン製造販売、農業、リサイクル活動
- ◆町道落合左走線 道路拡張事業…金額：24,530,000円  
工期：令和7年5月23日～令和8年1月30日 (左走地区内)
- ◆ニホンザルGPS行動圏調査業務委託…鳥獣被害防止総合対策交付金を活用した侵入防止柵の整備、  
GPS発信器を装着しモニタリング調査
- ◆刈合団地屋根・外壁改修工事(A棟)…A棟工事費：17,721,000円(国交付金 4,665,000円)  
令和7年5月26日～令和7年12月19日

10/24

## 県道下郷本郷線整備促進協議会と 県道戸赤栄富線整備促進協議会要望

福島県南会津建設事務所、福島県土木部、福島県議会に要望書を提出し、早期の整備促進をお願いした。



11/4

## 桧和田・市野・氷玉峠県道改良促進期成 同盟会福島県要望

副知事、県土木部、県議会に要望書を提出し、早期の改良整備促進をお願いした。

### ○令和7年11月6日

#### 『国道121号改良促進期成同盟会総会及び中央要望』

総会では、提出された案件は全て原案のとおり可決された。

総会后、福島県関係の国会議員に要望書を提出し、整備促進をお願いした。

### ○令和7年11月10日

#### 『会津縦貫道整備促進期成同盟会福島県要望』

副知事、県土木部、県議会に要望書を提出し、早期の整備促進をお願いした。

### ○令和7年11月12日

#### 『国道400号舟鼻峠改良促進期成同盟会県要望』

南会津建設事務所、会津若松建設事務所、県副知事、県土木部、県議会事務局に要望書を提出し、早期の改良促進をお願いした。

11/28

## 『国道118号道路改良促進期成 同盟会県要望』

県副知事、県土木部、県議会に要望書を提出し、早期の改良促進をお願いした。



## 令和7年10月-11月 議員派遣活動レポート

### インフラ整備に向けた要望活動

**高規格道路「会津縦貫道」の整備を強力に要請**  
国や県、国会議員へ要望書を提出し、早期整備と予算確保を求めました。

**複数の県道・国道の改良を促進**  
国道118号・121号・400号や複数の県道について、県や関係機関に整備を要望しました。

**要望先は国・県・国会議員など多岐にわたる**  
福島県庁、中央省庁（財務省・国土交通省）、衆・参議院会館を訪問し、直接要望を伝えました。

### 議員の資質向上と交流促進

議員研修会で議会改革と今後の政局を学ぶ専門家2名の講演により、議員としての資質向上と議会の活性化を図りました。



約98名参加

「在京下郷の集い」で都市との交流を深化  
在京者約98名が参加した交流パーティーで情報交換を行い、魅力あるまちづくりを推進しました。



10/26日

## 在京下郷の集い 場所：上野精養軒

在京下郷会員と下郷町民が一堂に会する、在京下郷の集いが開かれました。  
在京下郷の集いにあわせて、同級会を開催するなど、旧友との再会や思い出話を語り合い、故郷に思いを馳せた話題は尽きることはありませんでした。



10/27日

## 国会議員会館へ要望

## 町と町議会による中央要望

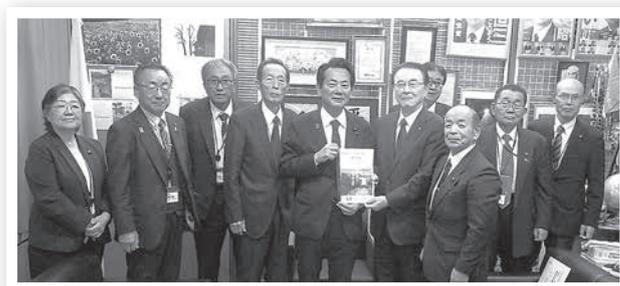
下郷町の重要課題である高規格道路「会津縦貫南道路」の整備促進など、福島県選出国会議員をはじめ9名の衆参議院議員に要望活動を実施しました。  
町と議会は、これまでも継続して町単独の中央要望を実施しておりました。  
今、その要望活動が着実に現実となって、今後のまちづくりに大きな役割を果たすものと思われます。



森まさこ議員



金子恵美議員



小熊慎司議員

# 議会だより ギャラリー

## 「お千度」 令和8年1月18日(日)～橋原地区 八幡神社

お千度は、地域の人々が氏神様に感謝し、安全を祈願する伝統行事です。春や秋に行われ、神社を周回して「千回の参拝」を象徴的に行います。疫病流行をきっかけに始まったとされ、住民の親睦と地域の絆を深める役割を担っています。



次回3月会議は3月第2週目の予定です。※日程が変更になる場合がありますので議会事務局へお問い合わせ下さい。

### 議会広報常任委員会

- |      |   |   |   |
|------|---|---|---|
| 委員長  | 星 | 和 | 志 |
| 副委員長 | 大 | 竹 | 浩 |
| 委員   | 小 | 玉 | 智 |
| 委員   | 猪 | 股 | 謙 |
| 委員   | 星 | 昌 | 喜 |
| 委員   | 渡 | 部 | 彦 |
|      |   |   | 哲 |

昨年(令和7年)は全国各地でクマ出没が相次ぎ、下郷町も出没・目撃が多数あり人的被害も発生し、クマへの対応にほんろうされた一年でした。クマは必ず冬眠するものではなく、栄養状態など様々な要因で山から出てくることもあるように、注意が呼びかけられています。クマの数が増えて分布域が広がるとの生活圏とクマの生息域が重なってきており、クマへの対応に本年以降も最大限の警戒を続けなければならぬと考えた方がよいそうです。

また県内で公表したインフルエンザ感染症発生が過去十年で最多となり、インフルエンザ流行の要因については、大阪・関西万博に伴う海外からの流入の増加を背景に海外から持ち込まれた可能性や流行時期が早く、ワクチン接種が始まる昨年十月より以前に始まったこと、ウィルスの変異など様々な要素が組み合わさっているという点です。

寒さ厳しき折り、町民の皆さま体調管理を心がけ、どうぞご自愛してお過ごしください。

(大竹 浩治)

## 編集後記